

[ビール片手に幻想入り]

[通称：ビールの人]

動画リンク

「話

紙芝居形式（完結）

【あらすじ】

コンビニへビールを買いに行ったら博霊神社にいた

【絵】

恐らくシャーペンで書いたものをスキャンしたのだと思われる

少々の手抜きは見られるが独特の画風を持っていると思う(主に目)

しかしキャラごとの書き分けはあまり出来ていなく、キャラごとの装飾品や服装で判断する部分が多かった

【物語】

全体を通したテーマなどは伝わってはこなかった

やはりどんでん返しが無いのは辛いかな、しかし細部細部だけ見るのなら、台詞回し等にセンスが見受けられた

【総評】

よくも悪くも凡作

若い番号、ネタ、キャラで視聴者を引っ張ったと思われる

テーマやプロットをよく練りこんでほしかった、一話完結型と考えても一貫性が「エロス」だけだったのは痛いノリと勢いだけでなく、創作としての心構えを持って、舞台が違っても創作活動を頑張ってもらいたいと願う、以上

良い意味、悪い意味、色んな意味で、透明感溢れる作品と言えると思う。

絵柄は少女漫画系の画風でいわゆる綺麗で透明感がある絵、

故に支持者は多いと思われるが、ラフっぽい絵が多いため、損をしている感は否めない。

そして背景描写がほとんど無いため、今何処に居るのか分からない事がしばしばある。

話はいつまで一言で言えば

「博霊神社で酒飲んで、エロスに暴れてのんびりしてた」

と言えば終わる。

コレを良しと受け取るか、否かが評価の分かれ目。

最終話の

「別に特に何かしないといけないわけじゃないでしょう」

というセリフは、最近一部視聴者から作者達に向けて言われる。

「もうちょっと何をしたいか考えてから入れよ」

という言葉に対するアンチテーゼなのかもしれないが、

いかんせん全7話では話数が少ないため説得力が無く、色々な複線も正直回収できていたとは言い難く、

ラストも突然すぎる展開だった為、置いてきぼり感を感じている視聴者も多く、その効果は薄い。

20話ぐらい続けて楽しませ、

「あれ？そういえばコイツ何かやったけ？」

といった後の言葉だったら、絶大な効果だったろうに残念でならない。